栃木県立小山北桜高等学校　食料環境科

２０２２年４月（令和４年度）新学科３年目を迎えました。

～食料生産や環境創生の分野で活躍できるスペシャリストを育てます～

学科の目標

食料の生産や環境の創生に関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、農業の経営や造園等の環境関連産業に従事できる実践的な能力と態度を育成する。

育てたい生徒像

・生命の大切さと自然の尊さを理解できる生徒。
・産業人としてのマナーを身につけ、組織の中で役割を自覚し周囲から信頼される生徒。
・正しい勤労観・職業観を身につけ、社会に貢献できる生徒。
・農業や食品、環境などの関連産業の仕事に真摯な姿勢と責任感を持って従事できる生徒。

学科の特色ある教育活動

食料環境科では、日頃の学習だけでなく校外・地域での実習や実体験を通した学習として、次のようなボランティア活動や地域貢献活動へ積極的に取り組んでいます。

校外、地域での学習活動

小山市青少年クラブ協議会（4Hクラブ）との交流

地域の若手農業従事者との意見交換会をはじめとする様々な交流を通して、地域農業への理解を深めています。

小山市4Hクラブとの交流（餅つき）

在来水稲品種の復活と水稲農家所得向上を目指した取り組み

かつて栃木県で育種・栽培されていた「栃木愛国３号」を酒米として復活させ、地域水稲農家の所得向上を目指すプロジェクトに下都賀農振事務所、栃農高とともに取り組んでいます。

愛国３号　種もみ栽培

地域の環境保全に関するボランティア活動

渡良瀬遊水地に生育する外来植物の除去や絶滅危惧種保護活動に取り組んでいます。また、足尾に緑を育てるための植樹活動、小山市内の河川堤防に植樹する市花「思川桜」の繁殖と育成活動、地域の緑環境向上を目指した諸活動にも取り組んでいます。

渡良瀬遊水地
外来植物除去ボランティア